



平成 29 年 7 月 7 日

自分たちの問題を自分たち自身で解決する仕組みづくり

～ 「かみとくれん」の3年目がスタート ～

「地域デザイン」という言葉があります。「その地域に住む人々が、自分たちが住む地域の問題に向き合い、自分たち自身で問題解決をしていく仕組みづくり」のことだそうです。私たちはそれぞれの現場で、日々特別な配慮が必要な子どもや家庭への支援に力を注いでいるわけですが、「かみとくれん」の取組は、まさに「地域デザイン」であると言えます。

「かみとくれん」は設立3年目を迎えました。私たちは、自分たちが住む上伊那圏域の問題を、自分たち自身で解決すべく、「かみとくれん」にコミットし共に歩みを進めているところです。過日行われた総会には、「かみとくれん」にコミットする教育、医療、福祉、行政の関係する皆様に多数お集まりいただきましたが、改めてこの地域には素晴らしい支援資源があること、そして仲間としての絆が着実に深まってきていることを実感しました。「かみとくれん」が仕組みのための仕組みに陥ることなく、あくまでも特別な配慮が必要な子どもや家庭の支援を有効に行うことが目的であることを確認し、共に取り組んでいきたいと思えます。

「地域デザイン」を進めていくためには、次の要件が重要だと言われています。一つ目は、「改善 (improvement)」、問題を理想 (あるべき状態) と現実 (今の状態) のギャップととらえ、解決するために、現実を何らかの方法で動かして理想へと近づけていくことです。特別な配慮が必要な子どもや家庭が抱える問題の解決は、今や関係者の連携なくして理想 (あるべき状態) へと近づけていくことはできません。関係者が連携し支援チームとなって問題解決にあたるのが改善のポイントになると思われま

す。二つ目は、「イノベーション (innovation)」、パラダイム (思考の枠組み) を変えて、新しい価値を創造していくことです。支援チームにおいてそれぞれの専門性を提供し合い、新たな方法を見出していくことは、従来のパラダイム (思考の枠組み) を変化させ、新しい価値を産み出すことにつながると考えられます。そして、こうした取組を進めていくためには「プラットフォーム (platform)」、問題に向き合い解決しようという意識を持った人々が交流し行き交える場が必要となります。「かみとくれん」はそうした場にもなっていると思えます。

本年度の活動がスタートしましたが、「かみとくれん」にコミットしている皆さんがさらに顔なじみとなり、研修への積極的な参加や支援チームの具体的取組が一層進むことを期待しています。また、私たちの取組の周囲にいる人々をできるだけ巻き込んで、支援者の輪をもっともっと広げていけるよう、それぞれ身近な人々への発信もお願いします。

お知らせ

【教育課程研究協議会について】

今年度の教育課程研究協議会は、10月11日（水）に辰野西小学校で行われます。

<研究テーマ>

特別な支援が必要な児童が学びやすい授業づくり
～ユニバーサルデザインを生かした学習支援, 環境, 評価について～

<午前の部>

- ・通常学級4クラスの授業公開と, 特別支援学級(知障学級)1クラスの授業公開
- ・公開学級数(5クラス)に分かれての授業研究会

受付 8:40～9:00

開会式 9:00～9:40 (研究発表含む)

研究授業 9:45～10:30

授業研究会 10:45～12:10

<午後の部>

県教委からの情報伝達 全員共通 13:10～14:50

【Ⅰ部】テーマ『卒後の生活』全員共通 15:00～15:50

医療法人齊藤診療所相談支援専門員の遠藤清美さんから卒後支援等についてのお話

【Ⅱ部】テーマ『幅広いニーズに応じて』選択 15:50～16:25

- ① 自立活動どうしていますか
- ② 生活単元学習どうしていますか
- ③ 合理的配慮どうしていますか
- ④ 原級との連携どうしていますか
- ⑤ 自情障学級の運営どうしていますか

* 時間は若干の変更有

【上伊那圏域連携サポート会議について】

7月29日（土）にいなっせ（昨年までと会場が変わりました）で行われます。今年度は『支援会議』にスポットを当て、午前は全体会、午後は分科会を行います。

受付 9:00～9:25 *いなっせ6F

全体会 9:30～12:00 テーマ:上伊那でのチーム連携「支援会議」を創る

アドバイザー:前年度かみとくれん会長:伊藤潤(現長野養護学校長)

9:30～10:00 オープニング 支援会議A「チームTKB」

10:10～10:40 開会式 支援会議B「チームかみとくれん」

10:50～12:00 モデル会議 支援会議C「チーム伊那養」

<昼食 12:00～13:00 いなっせ周辺でのランチ, または持参した昼食を会場でもOK>

分科会 13:00～14:40 課題・テーマ別 支援会議1～7

*分科会希望アンケートに基づき、参加者のニーズや課題に迫ります。

支援会議 1 (基本的な進め方や他機関との連携調整等)

支援会議 2 (家庭支援にかかわること)

支援会議 3 (不登校にかかわること)

支援会議 4 (愛着・療育・教育での支援にかかわること)

支援会議 5 (就学や進学・就労等にかかわること)

支援会議 6 (事例検討)

支援会議 7 (フリー) *上記分科会については、若干の変更有

閉会式 14:40~14:50 (分科会毎)

【長野県特別支援教育研究連盟総会及び研究協議会上伊那大会について】

大会テーマを『子どもの学びを保証し、自立と社会参加へつなげる特別支援教育の充実を目指して』とし、7月31日(月)に伊那市生涯学習センターで行われます。

受付	9:20~9:50	*いなっせ6F (会場変更の可能性あり)
開会行事・総会	10:00~10:40	
講演	10:50~12:30	
	演題	『医療との連携をいかした子どもの理解と支援の充実』
	講師	藪原明彦先生 (伊那中央病院 小児科部長)
分科会	13:40~15:20	
	第1分科会	小学校通常学級の実践
	第2分科会	中学校通常学級の実践
	第3分科会	小学校特別支援学級の実践
	第4分科会	中学校特別支援学級の実践
	第5分科会	LD等通級指導教室の実践
	第6分科会	特別支援学校のセンター的機能と地域支援の実践 (特別支援学校)
	※上伊那の特徴である、副学籍を活かした交流及び共同学習・分教室での取り組みを扱い、一人一人のニーズに応じた合理的配慮について扱っていく。	
閉会行事	15:25~15:35	

【上伊那生協病院の皆さんと語り合しましょう】

奇数月第3月曜日 (若干の変更有) に、上伊那生協病院において学習会を開催しています。今月は

期 日: 7月24日(月) 18:00~

場 所: 上伊那生協病院2階カンファ室

テーマ: 『副学籍のことを知ろう!!』

と称し、開催します。

事前参加申し込みは必要なく、お気軽にご参加ください。問い合わせ先は、伊那養護学校地域連携支援室教育相談担当: 福島徹 (Tel 72-2895) 上伊那生協病院言語聴覚士: 小林由美子 (Tel 79-8813) まで。

上伊那教育会ホームページの活用について

伊那養護学校 滝澤直子

① 上伊那教育会のホームページを開きます



② 『教科部』 → 『特別支援教育委員会』を開きます



③ ページにアクセス成功!!



特別支援教育委員会の活動報告（教育課程研究協議会やなかよし作品展等）のほかにも、上伊那圏域特別支援教育連携協議会の研修案内なども紹介していく予定です。ご参照ください。